

特ラ機構レポート No.212

令和 8 年 9 月 1 日

「令和 8 年熊本地震」における当機構の対応について ...	2
令和 8 年度 第 1 回 臨時理事会 報告	3
令和 8 年度 第 2 回 理事会 報告	6
運用連絡受信数と調整のための送信数	13
特定ラジオマイクが運用された主なイベント	15
新規加入会員紹介コーナー	17
イベント情報	21
令和 8 年情報通信月間セミナー報告	22
ちょっとブレイク	24
モータースポーツ無線協会からのお願い	26

令和8年8月17日

会員各位

一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構
理事長 渡邊 邦男

「令和8年熊本地震」における当機構の対応について

令和8年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。被災地の1日も早い復興と被災された皆様が1日も早く平穏な生活に戻られますことを祈念いたします。

当機構では災害義援金として、令和7年度特ラ機構表彰費の剰余金相当 約416,000円について、日本赤十字社「令和8年熊本地震災害義援金（被災地全域への寄付）」を通じて全額を被災地へ送ることが、令和8年度第2回理事会（令和8年8月5日開催）にて承認されました（令和8年8月6日、同社の義援金専用口座に416,000円を送金済み）なお、本来は総会での承認が必要な事項となりますが、緊急対応のため、承認は事後となりますことをご了承ください。

また、この度の地震により会員所属の特定ラジオマイクが被災し、使用に耐えない等の状況が発生している場合、当機構は当該会員に対して、状況や程度を鑑みて令和9年度の年会費・運用調整費を免除するなどの対応を考えております。

被災に遭われた地域の会員（本震で震度5弱以上が観測された市区町村を常置場所とする会員）には、「被災状況の調査用紙」をお送りいたします（令和8年9月上旬予定）。該当する被害がある場合は同用紙にご記入の上、ご返送ください。

なお、他地域の会員の中で、取材、ツアー、イベント等の業務中に本地震に係る特定ラジオマイクの破損、消失等の被害がありましたら、当該機器の令和9年度運用調整費を免除するなど相応の対応をしたいと考えておりますので、当機構事務局までご連絡ください。

<問い合わせ先>

特ラ機構事務局 石川・神守
電話：03-5273-9806

[理事会報告] 令和8年度 第1回 臨時理事会

1. 審議期間 令和8年6月30日(火)～7月10日(金) Eメール・書面にて審議

2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 23 名)

出席 [理事長] 渡邊邦男

[理事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 大塚 豊, 小野良行, 風上哲也,
金光浩昭, 川瀬健児, 北口紀雄, 木村和子, 古藤 崇, 小林 敬,
鈴木久利, 瀬谷正夫, 長屋義昭, 福澤裕之, 本間俊哉, 右田研介,
山下伸一郎, 吉田諭敏

[監事] 伊藤 博, 國枝義久

3. 審議事項

TV ホワイトスペース帯&専用帯& 1.2GHz 帯 運用調整費について

TV ホワイトスペース帯&専用帯& 1.2GHz 帯のトライバンドで運用できる特定ラジオマイク送信機(※)が工事設計認証を取得、無線局免許申請されることになったため、下記のとおり同周波数帯に係る運用調整費を提案する。

なお、当機構の定款上、運用調整費は会費扱いとなるので、その料額については総会の決議が必要となる(定款第16条)。そのため、本理事会では暫定の料額として決議を得て、次回の総会にて規約上の料額として重ねて決議を得たいと考える。

まず、当該送信機が TV ホワイトスペース帯、専用帯、1.2GHz 帯、いずれかの周波数帯で運用する可能性がある場合、それぞれの周波数帯で運用調整が必要となる。また、モノバンド送信機に比べて利便性が高いことから、1.2GHz 帯送信機(税別 2,100 円)より高い料額が妥当と考える。ただし、下記の理由から 1.2GHz 帯送信機の運用調整費(移動)より 1～2 割増し程度の料額に抑えたい。

- ・トライバンドで運用できるが同時に送信できるのは 1 波に限られること。
- ・運用者が多い現場では、より運用者の少ないバンドへ周波数変更しやすく、運用調整の助けとなること。
- ・意欲的な製品をリリースするメーカー・代理店への支援としたいこと。

なお、事務処理上の都合として、入会初年度の運用調整費は月割りでの請求となることから、税別の料額は 12 か月で割り切れるものが好ましい。

以上のことから、TV ホワイトスペース帯&専用帯& 1.2GHz 帯のトライバンドで運用できる特定ラジオマイク送信機の運用調整費(移動)は、税別 2,400 円(税込 2,640 円)としたい。

また、当該送信機の運用調整費（固定）については、現状の運用調整費（固定）が全周波数共通で税別 900 円（税込 990 円）であることから、これに倣って同金額としたい。

なお、「TV ホワイトスペース帯& 1.2GHz 帯」もしくは「専用帯& 1.2GHz 帯」の送信機がリリースされた場合についても同様の料額としたい。

※ 機種：Astral HH (Sound Devices, LLC)

仕様：288K G1D,G1E 471.400 ～ 713.600MHz (25kHz 間隔 9689 波) 0.04W

288K G1D,G1E 1240.400 ～ 1259.600MHz (25kHz 間隔 769 波) 0.04W

4. 審議結果

「TV ホワイトスペース帯&専用帯& 1.2GHz 帯」ほか 2 モデルの運用調整費について、上記期間にて E メール・書面にて審議したところ、理事・監事 23 名中、22 名から承認の回答を得た。よって、令和 8 年 7 月 13 日(月)以降、別表のと通りの料額とする。

なお、議題にあったとおり、運用調整費の料額については総会の決議が必要となるので、現状では暫定の料額となり、次回の総会で重ねて決議を得たいと考えている。

また、今回の審議において 2 件のご意見を頂戴したので、事務局の回答と共に記載する。

(小林理事)

繰越金が増加傾向にありますので、運用調整費の値下げも検討課題だと感じます。

(事務局)

運用調整費の見直しにつきまして、新しく制度化される「WMAS」の運用調整費を検討する際がよい機会とも考えております。その際は、当機構の財務状況や物価傾向、固定局と移動局の価格差の公平感なども勘案して検討を進めていきたいと考えております。

(本間理事)

当該送信機は 3 つのモードのうち、そのうちの 1 つの送信モードを選択できるということで、最も料金の高い 1.2GHz と同じ調整費料額が望ましい。

(事務局)

3 バンドの本送信機の場合、現場で使う周波数帯について WS 帯（専用帯）か 1.2GHz 帯が決まっていなかった場合、「運用連絡票」には両方の周波数帯を使用するかたちで記載されることが想定されますので、その場合、両方の周波数帯の運用調整処理が必要になります。

また、使用する周波数帯をあらかじめ決めてから「運用連絡票」を提出するルールとなった場合であっても、現場で WS 帯（専用帯）から 1.2GHz 帯へ使用周波数帯を変えるといったケースでは、1.2GHz 帯にて再度、運用調整が必要となります。

これらのことから 1 バンドの送信機に比べて、事務局として運用調整の手間もかかることから価格差をつけさせていただきました。ご理解いただければ幸いです。

以上

TV ホワイトスペース帯&専用帯& 1.2GHz 帯ほか 2 モデルの運用調整費料額表

(1局あたりの料額)

周波数帯	移動	固定
TVWS 帯 + 1.2GHz 帯 (470 ~ 710MHz, 1240 ~ 1252MHz, 1253 ~ 1260MHz)	2,640 円 (税込)	990 円 (税込)
特定ラジオマイク専用帯 + 1.2GHz 帯 (710 ~ 714MHz, 1240 ~ 1252MHz, 1253 ~ 1260MHz)		
TVWS 帯 + 特定ラジオマイク専用帯 + 1.2GHz 帯 (470 ~ 714MHz, 1240 ~ 1252MHz, 1253 ~ 1260MHz)		



[理事会報告] 令和8年度 第2回 理事会

1. 日 時 令和 8 年 8 月 5 日(水) 15 時～ 17 時

2. 場 所 ステーションコンファレンス池袋 12 階 Room3

3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 23 名)

出 席 [理事長] 渡邊邦男

[理 事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 大塚 豊, 小野良行, 風上哲也,
金光浩昭, 木村和子, 小林 敬, 瀬谷正夫, 長屋義昭, 本間俊哉,
右田研介, 山下伸一郎, 吉田諭敏

[監 事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席 [理 事] 川瀬健児, 北口紀雄, 古藤 崇, 鈴木久利, 福澤裕之

4. 令和 8 年度 第 2 回理事会 開催挨拶

本日はお暑いところをご参会くださりましてありがとうございます。令和 8 年度第 2 回理事会を開催いたします。

7 月 28 日に熊本で大きな地震がありました。今なお、多くの方が避難生活を余儀なくされております。そのことで、当機構としてできることを提案いたしますので、審議の中で議論していただければと思っております。それでは、議題に入りますのでよろしくお願いいたします。

5. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料：13 ～ 16 頁)

a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

⇒以上について質問・意見を募ったが特になかった。

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 26 回特ラ機構技術賞について、受賞作品・表彰式の様子を『特ラ機構レポート 211 号』に掲載した。次回開催や募集内容については、現在のところ未定となっている。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第 115 回編集委員会は、令和 8 年 7 月 30 日(木)に当機構事務局にて開催した。出席者は 4 名。211 号を振り返って反省点等を確認したほか、212 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

特ラ機構レポート 211 号は、令和 8 年 7 月 8 日(水)に発送済。212 号は 8 月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、情報通信月間セミナー報告、新規加入会員紹介、ちょっとブレイクなどを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

令和 8 年 4 月 27 日(月)、「特定ラジオマイクの高度化に向けた調査検討会」(第 1 回会合)」が Web 会議にて開催され、渡邊理事長が参加した。

令和 8 年 5 月 14 日(木)、「特定ラジオマイクの高度化に向けた調査検討会」の下に設置された「共用検討作業班(第 1 回会合)」ならびに「技術検討作業班(第 1 回会合)」が開催され、甲田テクニカルディレクターが参加した。

令和 8 年 6 月 1 日(月)、総務省と情報通信月間推進協議会が主催する「令和 8 年度 電波の日・情報通信月間 記念中央式典及び祝賀会」がホテルニューオータニ(東京都千代田区)にて開催された(参加者：渡邊理事長、石川、神守、船越、田山)。記念中央式典では、電波利用や情報通信の発展に貢献した個人並びに団体が表彰された。

令和 8 年 7 月 21 日(火)、「共用検討作業班(第 2 回会合)」が開催され、甲田テクニカルディレクターが参加した。

令和 8 年 7 月 23 日(木)、「技術検討作業班(第 2 回会合)」が開催され、甲田テクニカルディレクターが参加した。

令和 8 年 7 月 23 日(木)、総務省近畿総合通信局陸上第三課と TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会事務局、当機構(参加者：石川、甲田、船越)の三者にて Web 会議をおこなった。「ワールドマスタースゲーム 2027 関西」の開催に関する TVWS チャンネルリストの追加検討などについて情報共有の上、意見交換をおこなった。

② 各総合通信局関連

令和 8 年 7 月 22 日(水)に開催の情報通信月間セミナーに関して、共催である関東総合通信局の担当者とは、事前に綿密な打ち合わせをおこなった。

そのほか、今期も免許申請や変更申請等においてイレギュラーな対応があった場合など、各総合通信局にはアドバイスやご協力をいただいた。

③ 電波産業会(ARIB) 関連

令和 8 年 6 月 17 日(水)、「小電力無線局作業班 ラジオマイク WG」が開催され、甲田テクニカルディレクターが構成委員として参加して、船越職員は会議を傍聴した。

令和 8 年 6 月 25 日(木)、令和 8 年度通常総会が開催された。同日、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の総会と重なったため、委任出席とした。

(4) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(WS 協議会)

① 統合 DB 作業班

今期、統合 DB 作業班の開催はなかった。

② 幹事会

令和 8 年 6 月 2 日(火)、Web 会議による開催にて「WS 協議会 第 74 回幹事会」がおこなわれた(参加者：渡邊理事長、石川、甲田)。「令和 7 年度活動報告及び決算」、「令和 8 年度収支予算」など、総会に向けた検討事項について審議された。

③ WS 協議会 総会

令和 8 年 6 月 25 日(木)、(一社) 日本民間放送連盟(東京都千代田区) の第 2 会議室と Web 会議を併用にて、「WS 協議会 令和 8 年度総会(第 15 回)」がおこなわれた(参加者: 渡邊理事長, 石川, 甲田, 船越)。

総会では下記項目について事務局から提案があり、審議の上、承認された。

- ・令和 7 年度 活動報告及び決算について
- ・会費規程の改正について
- ・令和 8 年度 収支予算について
- ・役員等選任について
- ・楽天モバイルとの運用調整について
- ・衛星コンステレーションによる携帯電話向け 700MHz 帯非静止衛星通信システムについて
- ・ラジオマイクの広帯域多チャンネル音声システム(WMAS) について
- ・その他

④ WS 協議会負担金の支払い状況

令和 8 年度の WS 協議会負担金(既存会員分の運用調整費) について、WS 協議会側と確認作業を完了し、合計 30,751,800 円となった。また、令和 8 年度第 1 四半期の WS 協議会負担金(新規分の登録費・運用調整費) についても確認作業を完了し、合計 626,500 円となった。それぞれについて、令和 8 年 8 月 5 日(水)に支払い済みとなっている。

(5) チャンネルリストについて(令和 8 年 4 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日)

令和 8 年 4 月～7 月の 4 か月間における TVWS チャンネルリストの新規申請と運用調整システムへの登録状況は下記のとおりとなっている。

申請日	申請先総合通信局(総合通信事務所)	運用調整システム登録完了日
令和 8 年 4 月 1 日(水)	関東、近畿	令和 8 年 4 月 27 日(月)
令和 8 年 5 月 8 日(金)	関東、近畿	令和 8 年 5 月 28 日(木)
令和 8 年 6 月 10 日(水)	関東	令和 8 年 6 月 29 日(月)

<新たに追加された施設>

東京建物 ぴあ シアター & カンファレンス, WAVE PARK BIWAKO,
 VEXZ スタジオ, NHK テクノロジーズ 第 7 共同ビル,
 万博記念公園(もみじ川広場 上の広場 下の広場 緑地広場 太陽の広場),
 Cloud ten THEATER, 新百合トウェンティワンホール, 白浜町 白良浜,
 エディオンピースウイング広島, 三菱総合研究所

<変更修正された施設>

ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート ⇒ THE MEIBIA MIYAZAKI (ザ・メイビア宮崎)
 ベストアメニティストadium ⇒ 駅前不動産スタジアム(鳥栖スタジアム)
 東京スポーツスクエア ⇒ Tokyo Innovation Base
 タワーレコード錦糸町 ⇒ TOHO シネマズ錦糸町
 ホテルセンチュリー静岡 ⇒ ホテルグランヒルズ静岡

(6) 情報通信月間推進協議会報告

① 運営連絡会（参加者：石川）

令和 8 年 4 月 23 日(木)、Web 会議にて「第 2 回運営連絡会」が開催された。主な議題は以下のとおりとなっている。

1. 情報通信月間の周知広報について
2. 電波の日・情報通信月間中央式典・祝賀会について
3. 情報通信月間参加行事について
 - (1) 2026 年情報通信月間行事登録の状況
 - (2) 援助金希望行事の状況
 - (3) 援助金の内定額について
4. 協賛金のお願いについて

それぞれについて事務局からの説明があり、質疑応答の後、承認された。

② 情報通信月間参加行事（参加者：渡邊理事長、石川、甲田、渡辺、小西、船越）

令和 8 年 7 月 22 日(水)、総務省関東総合通信局（東京都千代田区）の 11 階共用会議室 1 にて、「令和 8 年度情報通信月間 『特定ラジオマイクセミナー ～最新の動向と技術について～』」がおこなわれた。今回は総務省関東総合通信局との共催、株式会社 NHK テクノロジーズ、シュア・ジャパン株式会社、ゼンハイザー・ジャパン株式会社の協力、情報通信月間推進協議会の協賛にて開かれ、当日の参加者は 54 名となった。

当日のプログラムは下記のとおり。

<第 1 部>

『特定ラジオマイクの高度化に向けた総務省の取組』（総務省）

<第 2 部>

『特定ラジオマイクの高度化「WMAS」の概要について』

（株式会社 NHK テクノロジーズ）

『WMAS 実験試験局を用いたメーカー 2 社のプレゼンテーション&実機試聴』

- ・ Shure アドバンスド・デジタル・インイヤーモニタリングシステム
「AXT Digital PSM」のご紹介（シュア・ジャパン株式会社）
- ・ SENNHEISER MIC/IEM 双方向マルチチャンネル伝送エコシステム
「Spectera」のご紹介（ゼンハイザー・ジャパン株式会社）

「WMAS」に対応した機器を扱うメーカー 2 社がそろい踏みとなる初のテスト会ということもあって、参加者はメーカースタッフに熱心に質問するなど、「WMAS」への関心の高さが伺えた。当日の資料は当機構の Web サイトからダウンロードできるほか、概要については『特ラ機構レポート 212 号』にて掲載予定となっている。

③ 総会（参加者：石川）

令和 8 年 6 月 1 日(月)、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）にて、「2026 年度情報通信月間推進協議会総会」がおこなわれた。総会では下記項目について事務局から報告があり、承認された。

- ・ 2026 年度情報通信月間 実施概要
- ・ 2026 年度情報通信月間 表彰概要

(7) 令和 8 年度の再免許手続き

昨年度の再免許手続きについて、令和 8 年 5 月下旬から対象の会員へ新しい免許状を発送した。令和 7 年 10 月の無線局免許状デジタル化に伴い、これまでの郵送ではなく E メール送信となったが、特にトラブルもなく無事完了した。

今年度の対象会員は 297 会員 4,271 局を予定している。各種案内は令和 8 年 11 月に発送予定。

(8) 短信、その他

① 楽天モバイル株式会社 700MHz 帯利用に向けた今後の対応に関して

今期、5 回(※)にわたって、楽天モバイル株式会社、WS 協議会事務局並びに 放送事業者との会合を重ね、令和 8 年 7 月 1 日(水)、「運用調整システム」と楽天モバイル株式会社「干渉判定システム」との連携が本格稼働した。また、令和 8 年 7 月 16 日(木)には、「第一回システム連携会議」が開催された。

今後の課題としては、全国に広がる固定会員の特定ラジオマイク専用帯での運用をさらに確認し、携帯電話基地局建設ならびに衛星ダイレクト通信との共用検討について連携して、会員の安心・安全な運用に努める。

なお、令和 8 年 6 月末現在で稼働している、同社の 700MHz 帯携帯電話基地局は、22 都府県で 582 局となっている。

※令和 8 年 4 月 28 日(火)、5 月 19 日(火)、6 月 9 日(火)、6 月 19 日(金)、7 月 2 日(木)

② 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会について

令和 8 年 4 月 23 日(木)、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会情報システム課に甲田テクニカルチーフがご挨拶をさせていただいた。

今後、同競技大会に関する特定ラジオマイクの運用申請に関しては、同競技大会の Web サイトなどを参照して、規定に沿って早めに登録いただきたい旨のお願いがあった。

③ 『Formula e Tokyo E-Prix』について

令和 8 年 7 月 25 日(土)～ 26 日(日)、東京都江東区有明 3 丁目「東京ビッグサイト」を中心として、EV カーによる「Formula-e Tokyo 2026」が開催された。

当機構事務局は「モータースポーツ無線協会 (MoSRA)」と連携して、同レースにて使用される運用周波数をあらかじめ情報共有させていただき、隣接する施設において運用連絡のあった他の無線局との運用 TV チャンネルや周波数の調整をおこなった。

⇒ ここまでの報告事項について、質問・意見を募ったが特になく承認された。

【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和 8 年 4 月～令和 8 年 7 月分

[入会]

北海道：有限会社サウンド企画

東 北：株式会社アート&コミュニティ

関 東：株式会社バンダイナムコベース (Shibuya LOVEZ)，株式会社アットサウンド，
郵船クルーズ株式会社，MAX UPPER 株式会社，株式会社イー・ピー・アイ，
株式会社 VEXZ (VEXZ スタジオ)，株式会社リンキディンク，

株式会社アブストリームクリエイション（リアルアキバスクエア），
 株式会社 SAund Lab，株式会社 Super Squall Entertainment，
 真如苑（応現院），石井 龍二，合同会社パドリカス，勝見 亘，
 柴田 陽一郎，From ZERO 合同会社（Cloud ten THEATER），山崎 幸太，
 株式会社テクニコ（ホテルニューオータニ東京），株式会社オーディオブレインズ，
 株式会社 Wa.Co.，清水 雄一郎，株式会社三菱総合研究所（4F 会議室），
 株式会社 imagineate，株式会社ケーアンドエー，日本コロムビア株式会社，
 株式会社スパークキッドサウンド，株式会社 GRC クラウド

東 海：磯村 健二，株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（一宮市民会館 大ホール），
 名古屋アンパンマンミュージアム&パーク有限責任事業組合 職務執行者
 中嶋 裕之（名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク）

近 畿：株式会社 chap（ヨドバシホール），株式会社 Pasona Resort，
 株式会社アコステ

四 国：里谷 彰崇

九 州：株式会社 SAGA サンシャインフォレスト（SAGA サンライズパーク アリーナ），
 佐野 正典

〔退会〕

北海道：苫小牧市（苫小牧市民会館）

関 東：有限会社サウンド・ウィーズ，株式会社ジユン（B.I.F BY NERGY 原宿スタジオ），
 ワイヤード株式会社，株式会社美双，株式会社 MTG（MTG 東京支社）
 RED MAKER 株式会社（RED° TOKYO TOWER）

東 海：下田 周平，熊谷 卓耶

近 畿：Cap Stone Entertainment 株式会社（ヨドバシホール），
 松竹株式会社（大阪松竹座）

中 国：株式会社アートテレビ，株式会社 HIBITOKI（ザ・スタイル No.20）

⇒ 以上の入退会について、質問・意見を募ったが特になく承認された。

(2) 会員数

令和8年7月末現在 1,755 会員

(3) 無線局数

令和8年7月末現在 52,456 局

（内 訳）

【 470 ～ 714MHz 】

ラジオマイク	35,609 局（アナログ：22,805 局，デジタル：12,804 局）
イヤモニ	2,864 局（アナログ：2,761 局，デジタル：2 局， アナ&デジ：101 局）

【 1.2GHz 帯 】

ラジオマイク	13,920 局（アナログ：786 局，デジタル：13,134 局）
イヤモニ	61 局（アナログ：10 局，デジタル：0 局， アナ&デジ：51 局）

【 470 ～ 714MHz & 1.2GHz 帯 】

ラジオマイク 2 局 (アナログ: 0 局, デジタル: 2 局)

合 計 52,456 局 (アナログ: 26,362 局, デジタル: 25,942 局,
アナ&デジ: 152 局)

(4)「令和 8 年熊本地震」における対応について

当機構は「令和 8 年熊本地震」に際し、被災会員や被災地への支援のため、過去の事例(※)に即して、下記の対応をおこなうことを提案する。

- 1, 災害義援金として、令和 7 年度特ラ機構表彰費の剰余金相当 約 416,000 円 について、日本赤十字社「令和 8 年熊本地震災害義援金 (被災地全域への寄付)」を通じて被災地へ送る。
- 2, 被災された地域の会員 (本震で震度 5 弱以上が観測された市区町村を常置場所とする会員) には、「被災状況の調査用紙」を送付して、被災状況を確認する。
- 3, 会員所属の特定ラジオマイクが被災して、使用に耐えない等の状況が発生している場合、当機構は当該会員に対して、令和 9 年度年会費・運用調整費を免除する。
- 4, 他地域の会員で、取材、ツアー、イベント等の業務中に本地震に係る特定ラジオマイクの破損、消失等の被害があった場合、当該機器の令和 9 年度運用調整費を免除するなど相応の対応をする。
- 5, 以上について、本来は総会での承認が必要な事項も含んでいるが、緊急の対応が必要とされるため、令和 9 年度総会にて事後の承認を得ることとする。

※ご参考

令和 6 年 1 月 1 日に発生した「令和 6 年能登半島地震」における、当機構の対応は下記のとおり。

- ・ 災害義援金として、令和 5 年度特ラ機構表彰費の剰余金 約 246,000 円 について、日本赤十字社を通して被災地へ送った。
→ 令和 5 年度第 4 回理事会にて承認。その後、令和 6 年度通常総会にて事後承認を得た。
- ・ 被災地域の会員に「被災状況の調査用紙」を送付して、被災状況を調査した。
- ・ 特定ラジオマイクが被災して使用できなくなった会員がいた場合、令和 6 年度の年会費・運用調整費の免除などを検討した。
→ 調査の結果、幸いにも該当する会員はいなかった。

以上

⇒ 以上の審議事項について質問・意見を募ったが特になく、満場一致の承認を得た。

⇒ その後、残りの時間にて、各理事・監事から近況報告などを頂戴して、第 2 回理事会は閉会となった。

運用連絡受信数と調整のための送信数

2026 年 4 月～7 月（令和 8 年度）

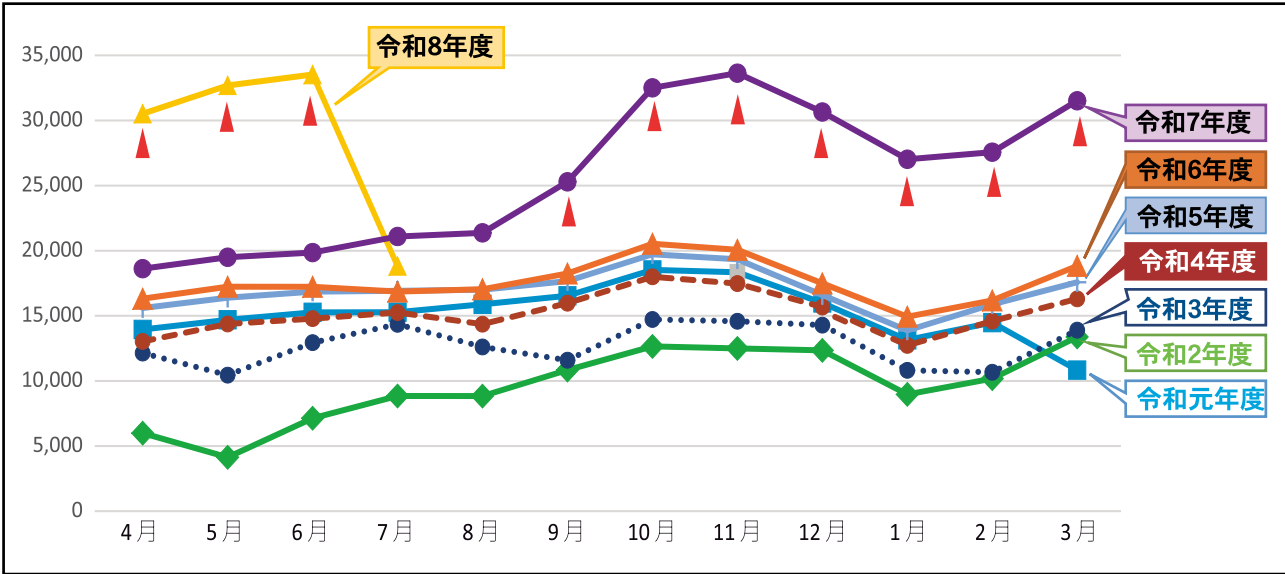
運用連絡受信数：月別の推移

表 -1 各年度 運用連絡受信数（月別の比較）この表における 数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年 計	月平均
R 元年度	13,954	14,708	15,290	15,302	15,914	16,577	18,593	18,407	16,023	13,146	14,491	10,788	183,193	15,266
R2 年度	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475	12,324	8,896	10,125	13,374	115,063	9,589
R3 年度	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594	14,292	10,771	10,622	13,902	152,869	12,739
R4 年度	13,023	14,383	14,801	15,274	14,367	16,003	18,061	17,533	15,703	12,715	14,601	16,341	182,805	15,234
R5 年度	15,624	16,427	16,906	16,969	17,057	17,723	19,810	19,423	16,635	13,879	15,908	17,633	203,994	17,000
R6 年度	16,353	17,287	17,279	16,909	17,089	18,314	20,633	20,161	17,546	14,950	16,217	18,908	211,646	17,637
R7 年度	18,692	19,582	19,946	<u>21,198</u>	<u>21,484</u>	<u>25,459</u>	<u>32,779</u>	<u>33,925</u>	<u>30,897</u>	<u>27,218</u>	<u>27,770</u>	<u>31,774</u>	<u>310,724</u>	<u>25,894</u>
R8 年度	<u>30,763</u>	<u>32,968</u>	<u>33,814</u>	18,897										

受信数：前年比 1.65 倍 1.68 倍 1.70 倍 0.89 倍 1.26 倍 1.39 倍 1.59 倍 1.68 倍 1.76 倍 1.82 倍 1.71 倍 1.68 倍

各年度 月別「運用連絡受信数」折れ線グラフ



【表と折線グラフについて】
 令和 7 年度 (2025 年度) から I の表と折線グラフを、「各年度別の運用連絡:受信数」に変更しました。
 それに伴い、2014 年の周波数移行時から掲載してきた「運用連絡と調整の総件数」は、下段 III に
 表のみを掲載しています。

I . 表と折れ線グラフから運用連絡受信数を比較する

- (1) R6 年 6 月末から「専用帯に係る楽天モバイル携帯基地局の登録」が始まり、当年 6 月末時点で 582 局まで増加している。この影響を受信数の折線グラフ▲で見ると、R7 年 9 月～R8 年 6 月末までの受信数が急増していることが分かる。しかし、R8 年 7 月 1 日から専用帯に係る楽天M基地局の運用連絡と調整がすべて 自動制御の干渉判定システムに切り替わったため、当期 7 月からの受信数データ等はすべて R6 年 6 月以前の通常値に戻っている。

Ⅱ . 当期の運用連絡受信数および調整の送信数を前年度と比較する

(1) 1ヵ月間の受信数Ⅱ (A-1) および 送信数Ⅱ (B-1) で、当期の4月から7月を振り返る

【受信数】4月 30,763 件、5月 32,968 件、6月 33,814 件と増加したが、7月からは通常値の 18,897 件となった。
【送信数】楽天Mとの専用帯に係る運用調整数が昨年7月から当年6月まで増加し続けた影響で、当期は4月 72,728 件、5月 87,927 件、6月 100,792 件と急激に伸びたが、7月は受信数と同様に通常値の 25,722 件に戻った。

Ⅱ . (A-1) 1ヶ月間の受信数												
令和8年度	2026年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
前年	18,692	19,582	19,946	21,198	21,484	25,459	32,779	33,925	30,897	27,218	27,770	31,774
当年	30,763	32,968	33,814	18,897								
増減	+12,071	+13,386	+13,868	-2,301								

Ⅱ . (B-1) 1ヶ月間の送信数												
令和8年度	2026年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
前年	24,987	25,037	26,570	32,371	35,551	45,788	69,888	78,385	74,892	68,098	66,788	80,695
当年	72,728	87,927	100,792	25,722								
増減	+47,741	+62,890	+74,222	-6,599								

(2) 【2ヵ月間の受信数Ⅱ (A-2) と送信数Ⅱ (B-2)】を前年と比較

【受信数】4月+5月の受信数は前年比 25,457件増の 63,731件。6月+7月は11,567件増の 52,711件となった。
【送信数】4月+5月の送信数は前年比 110,631件増の 160,655件。6月+7月は67,623件増の 126,564件となった。

Ⅱ . (A-2) 2ヶ月間の受信数			Ⅱ . (B-2) 2ヶ月間の送信数		
令和8年度	(4月+5月)	(6月+7月)	令和8年度	(4月+5月)	(6月+7月)
前年	38,274	41,144	前年	50,024	58,941
当年	63,731	52,711	当年	160,655	126,564
増減	+25,457	+11,567	増減	+110,631	+67,623

Ⅲ . 各年度の月別「運用連絡と調整の総件数」から、2ヵ月間を比較

(1) 2ヵ月間の運用連絡と調整の総件数

2ヵ月間の総件数は4月+5月が前年比 136,088件増の 224,386件、6月+7月が前年比 79,190件増の 179,275件。

(2) 【運用連絡受信数に対する 調整のための送信数の比率】

4月+5月は 2.52 倍、6月+7月は 2.40 倍となった。

Ⅲ . 2ヶ月間の総件数を比較			2ヵ月間の総件数と送信比率		
令和8年度	総件数 (4月+5月)	総件数 (6月+7月)	令和8年度	総件数 (4月+5月)	総件数 (6月+7月)
前年	88,298	100,085	a: 受信数	63,731	59,711
当年	224,386	179,275	b: 送信数	160,655	126,564
増減	+136,088	+79,190	a+b: 総件数	224,386	179,275
			b/a 比率	2.52	2.40

各年度月別運用連絡と調整の総件数

表における 数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	<u>22,921</u>	444,947	37,079
R2年度	<u>12,780</u>	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	36,977	29,098	32,998	39,697	420,018	35,002
R5年度	<u>35,629</u>	37,617	38,656	37,804	39,047	41,695	50,307	45,091	39,103	32,497	37,134	41,509	476,089	39,674
R6年度	36,070	40,625	40,110	39,284	40,934	46,957	46,607	45,931	40,535	34,454	36,693	44,518	492,718	41,060
R7年度	43,679	44,619	46,516	<u>53,569</u>	57,035	<u>71,247</u>	102,667	112,310	105,789	95,316	94,558	112,469	939,774	78,315
R8年度	103,491	<u>120,895</u>	134,606	44,669										
前年との差	+59,812	+76,726	+88,090	-8,900	+16,101	+24,290	+56,060	+66,379	+65,254	+60,862	+57,865	+67,951		

特定ラジオマイクが運用された主なイベントおよび干渉報告

【理事会資料】

(令和8年4月～7月)

1. 主なイベント

イベント名		日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
						TVWS	711-714	1.2GHz	
関西物流展	※	4月8日～10日	インテックス大阪	10	13	10	2	19	31
幕張メッセ各イベント	※	4月8日～12日	幕張メッセ	8	8	0	0	38	38
FABEX 2026		4月15日～17日	東京ビッグサイト	5	12	2	0	25	27
ITEM2026 他イベント	※	4月17日～19日	パシフィコ横浜	5	6	0	0	28	28
ニコニコ超会議 2026	※	4月25日～26日	幕張メッセ	17	26	76	5	71	152
SusHi Tech Tokyo 2026	※	4月27日～29日	東京ビッグサイト	15	22	103	5	53	161
EDIX 東京 2026	※	5月20日～22日	東京ビッグサイト	7	12	11	4	35	50
NEW 環境展		5月13日～16日	東京ビッグサイト	7	9	2	0	19	21
ビューティーワールドジャパン東京	※	5月18日～20日	東京ビッグサイト	11	22	6	0	60	66
インターフェックス 他イベント	※	5月20日～22日	幕張メッセ	11	15	5	0	35	40
JECA FAIR 2026 電設工業展	※	5月27日～29日	東京ビッグサイト	7	11	2	0	34	36
人とくるまのテクノロジー展	※	5月27日～29日	パシフィコ横浜	10	13	0	2	35	37
FOOMA JAPAN・オルガテック	※	6月2日～5日	東京ビッグサイト	14	23	2	2	63	67
ポケモンジャパン チャンピオンシップス	※	6月6日～7日	パシフィコ横浜	7	9	20	0	22	42
Interop Tokyo 2026	※	6月10日～12日	幕張メッセ	11	15	22	0	32	54
電子機器 2026 トータルソリューション展	※	6月10日～12日	東京ビッグサイト	10	14	5	0	32	37
CSPI 2026	※	6月17日～20日	幕張メッセ	12	28	32	0	49	81
SPORTEC 2026		7月8日～10日	東京ビッグサイト	7	9	25	4	24	53
メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2026 他イベント		7月15日～17日	東京ビッグサイト	9	12+ 2取材	2	0	28	30
ホテル・レストラン・ショー & FOODEX JAPAN		7月22日～24日	インテックス大阪	4	4	0	0	28	28

※ 周波数配分を実施したイベント

【周波数配分】

令和 8 年 4 月 25 日(土)～ 4 月 26 日(日)、幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催された『ニコニコ超会議 2026』において、TVWS 帯 8 社 16 ブース 81 局、1.2GHz 帯 9 社 10 ブース 71 局、 合計 152 局の周波数配分をおこなった。

昨年と比べて、TVWS 帯と 1.2GHz 帯の両周波数帯ともブース数・運用局数が増加した。
また、TVWS 帯についてはアナログラジオマイクの利用が大半を占めていたため、三次高調波の検討をしながら、ブースごとの周波数割り当てをおこなう必要があった。

令和 8 年 4 月 27 日(月)～ 4 月 29 日(水)、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された『SusHi Tech Tokyo 2026』において、TVWS 帯 8 社 12 ブース 108 局、1.2GHz 帯 7 社 10 ブース 53 局、合計 161 局の周波数配分をおこなった。

オフィシャルステージ担当の株式会社総合舞台様（ご担当：山下様）から事前に周波数プラン（TVWS 帯）をご提供いただいていたため、全体の周波数配分を安全におこなうことができた。ご協力いただき感謝申し上げます。

II. 干渉報告

株式会社トライオーディオ様（ご担当：向村様）からご連絡があり、令和 8 年 4 月 28 日(火)、東京ビッグサイト（東京都江東区）西 4 ホール『Sushi Tech Tokyo2026』に出演していた「新しい学校のリーダーズ」のイヤーマニター（649.950MHz）に、「ピンクノイズの様な“ザー”という音と鐘の音の様な“ゴーン”という音がした」との報告を受けた。事務局にて周波数配分をおこなっていたイベントであったため、新たに 654.800MHz を割り当てたところ、その後、問題は発生しなかったとのこと。原因は不明である。

株式会社昭栄美術様（ご担当：南場様）からご連絡があり、令和 8 年 6 月 2 日(火) 20 時頃、AOBA SKY FIELD（神奈川県横浜市）でおこなわれたサッカーイベントで使用していた 1.2GHz 帯（1240.600MHz）に干渉があり、「セミナーのマイク音声みたいな声が聞こえた」との報告を受けた。干渉した電波が復調できたということは、干渉の原因は同社が使用していた「Shure ULX-D Z16」と同じ機種のマイクである可能性が高く、隣接するエリアにおいて何者かが無届で運用していたのではないかと考える。

同イベントは 6 月 30 日(火)と 7 月 30 日(木)にも開催されたが、同様の問題は発生しなかった。

以上

新規加入会員紹介コーナー

令和8年4月～7月

北海道

会員番号 010-0068			移動会員
有限会社サウンド企画			
WS 帯	-	-	シュア…1局

東北

会員番号 020-0066			移動会員
株式会社アート&コミュニティ			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…4局

関東

会員番号 030-1347			固定会員
株式会社バンダイナムコベース (Shibuya LOVEZ)			
WS 帯	-	-	シュア…16局

会員番号 030-1348			移動会員
株式会社アットサウンド			
WS 帯	-	1.2GHz 帯	シュア…8局 ゼンハイザー…1局

会員番号 030-1349			移動会員
郵船クルーズ株式会社			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…16局

会員番号 030-1350			移動会員
MAX UPPER 株式会社			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	シュア…11局

会員番号 030-1351			移動会員
株式会社イー・ピー・アイ			
WS 帯	専用帯	-	シュア…24局

会員番号 030-1352			固定会員
株式会社 VEXZ (VEXZ スタジオ)			
WS 帯	専用帯	-	シュア…1局 ゼンハイザー…12局

関 東

会員番号 030-1353			移動会員
株式会社リンキディンク			
WS 帯	専用帯	-	オーディオテクニカ…4局

会員番号 030-1354			固定・移動会員
株式会社アブストリームクリエイション（リアルアキバスクエア）			
WS 帯	専用帯	-	シュア…8局 ベイヤーダイナミック…8局

会員番号 030-1356			移動会員
株式会社 SAund Lab			
WS 帯	専用帯	-	シュア…2局 Deity Microphones…2局

会員番号 030-1357			移動会員
株式会社 Super Squall Entertainment			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…20局

会員番号 030-1358			固定会員
真如苑（応現院）			
WS 帯	-	-	ゼンハイザー…14局

会員番号 030-1359			移動会員
石井 龍二			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…8局

会員番号 030-1360			移動会員
合同会社パドリカス			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	シュア…5局

会員番号 030-1361			移動会員
勝見 亘			
WS 帯	専用帯	-	Deity Microphones…2局

会員番号 030-1362			移動会員
柴田 陽一郎			
WS 帯	専用帯	-	Deity Microphones…4局

会員番号 030-1363			固定会員
From ZERO 合同会社（Cloud ten THEATER）			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	シュア…36局

関 東

会員番号 030-1364			移動会員
山崎 幸太			
WS 帯	専用帯	-	オーディオテクニカ…4局

会員番号 030-1365			固定会員
株式会社テクニコ（ホテルニューオータニ東京）			
WS 帯	専用帯	-	シュア…18 局

会員番号 030-1366			移動会員
株式会社オーディオブレインズ			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	Sound Devices…2 局

会員番号 030-1367			移動会員
株式会社 Wa.Co.			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	シュア…3局

会員番号 030-1368			移動会員
清水 雄一郎			
WS 帯	専用帯	-	WISYCOM…4局

会員番号 030-1370			移動会員
株式会社 imagine			
WS 帯	専用帯	-	シュア…9局

会員番号 030-1371			移動会員
株式会社ケーアンドエー			
WS 帯	専用帯	-	オーディオテクニカ…4局

会員番号 030-1372			移動会員
日本コロムビア株式会社			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…2 局

会員番号 030-1373			移動会員
株式会社スパークキッドサウンド			
WS 帯	専用帯	-	シュア…2 局

会員番号 030-1374			移動会員
株式会社 GRC クラウド			
-	-	1.2GHz 帯	ゼンハイザー…3局

東 海

会員番号 060-0173			移動会員
磯村 健二			
WS 帯	-	-	シュア…4局

会員番号 060-0174			固定会員
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（一宮市民会館 大ホール）			
WS 帯	専用帯	-	シュア…8局

会員番号 060-0175			固定・移動会員
名古屋アンパンマンミュージアム&パーク有限責任事業組合 (名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク)			
WS 帯	-	-	シュア…2局 ゼンハイザー…8局

近 畿

会員番号 070-0386			固定会員
株式会社 chap（ヨドバシホール）			
-	専用帯	-	シュア…10局

会員番号 070-0386			移動会員
株式会社 Pasona Resort			
WS 帯	専用帯	-	シュア…4局

会員番号 070-0388			移動会員
株式会社アコステ			
-	-	1.2GHz 帯	ゼンハイザー…4局

四 国

会員番号 090-0049			移動会員
里谷 彰崇			
WS 帯	専用帯	-	シュア…2局

九 州

会員番号 100-0130			固定会員
株式会社 SAGA サンシャインフォレスト（SAGA サンライズパーク アリーナ）			
WS 帯	専用帯	-	シュア…8局

会員番号 100-0131			移動会員
佐野 正典			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…4局

イベント情報

秋になりますとビジネス関係の展示会が多く開催され、大規模な展示会等では複数の会員様が混在し、運用調整が複雑になることが想定されます。

事前の調整を円滑におこなうため、運用連絡票は余裕をもって2営業日前までにご提出をお願いいたします。

ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

日 程	展 示 会 名	場 所
9 月 8 日～9 月 11 日	国際物流総合展 2026 ★	東京ビッグサイト
9 月 9 日～9 月 11 日	ネプコン ジャパン [秋] ★	幕張メッセ
9 月 17 日～9 月 21 日	東京ゲームショウ 2026 ★	幕張メッセ
9 月 24 日～9 月 27 日	ツーリズム EXPO ジャパン 2026 ★	東京ビッグサイト
10 月 7 日～10 月 9 日	第 29 回 ものづくり ワールド [大阪] ★	インテックス大阪
10 月 7 日～10 月 9 日	H.C.R.2026 第 53 回国際福祉機器展 ★	東京ビッグサイト
10 月 13 日～10 月 16 日	CEATEC 2026 ★	幕張メッセ
10 月 13 日～10 月 16 日	Japan Mobility Show Bizweek 2026 ★	幕張メッセ
10 月 19 日～10 月 21 日	ビューティーワールド 大阪 ★	インテックス大阪

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



令和 8 年 情報通信月間 セミナー報告

特定ラジオマイクセミナー ～最新の動向と技術について～

情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられた「情報通信月間」(5月15日～6月15日)。令和8年度は「AIで広げる暮らし 愛ある社会」をテーマに、全国でさまざまな関連するイベントやセミナーが開催された。

令和8年7月22日(水)、当機構もその一環として“ルールを守って、クリアな運用”を旗印にセミナーを開催。場所は総務省関東総合通信局(東京都千代田区)にて、同局との共催、株式会社NHKテクノロジーズとメーカー2社(シュア・ジャパン株式会社、ゼンハイザー・ジャパン株式会社)の協力、情報通信月間推進協議会の協賛でおこなった。

当日のプログラムは以下のとおり。

●開会挨拶

(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構

理事長 渡邊 邦男

総務省 関東総合通信局 局長 内藤 茂雄



(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構
渡邊 邦男 理事長

●第1部

『特定ラジオマイクの高度化に向けた総務省の取組』

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課

課長補佐 田野 正行



総務省 関東総合通信局
内藤 茂雄 局長

●第2部

『特定ラジオマイクの高度化「WMAS」の概要について』

株式会社NHKテクノロジーズ

ファシリティ技術本部 システムソリューション部

岩田 昭光

『Shure アドバンスド・デジタル・インイヤーモニタリングシステム「AXT Digital PSM」のご紹介』

シュア・ジャパン株式会社 マーケット・デベロップメント部 井上 直行

『SENNHEISER MIC/IEM 双方向マルチチャンネル伝送エコシステム「Spectera」のご紹介』

ゼンハイザー・ジャパン株式会社 プロオーディオ 藤井 宏
『両メーカー実機試聴』

近年、特定ラジオマイクシステムの多チャンネル運用が急増し、周波数のひっ迫対策が求められている。今回のセミナーでは、これらの問題を解決する新たな技術として注目されている「WMAS（広帯域多チャンネル音声システム）」の紹介と実験試験局を用いた実機テストを中心に、特定ラジオマイクの最新の動向と技術について紹介した。

「WMAS」に対応した機器を扱うメーカー 2 社がそろい踏みとなる初のテスト会ということもあって、参加者はメーカースタッフに熱心に質問するなど、「WMAS」への関心の高さが伺えた。本セミナーは 2 時間ほどで終了し、参加者は 54 名だった。

なお、当日の詳しい内容は、当機構 Web サイトから各社の資料がダウンロードできるので参照してほしい。

● 特定ラジオマイク運用調整機構 Web サイト

<https://www.radiomic.org/>

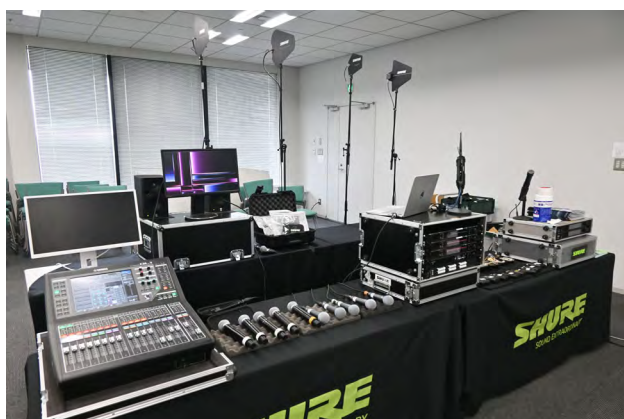
※トップページ「Information」からダウンロード



セミナー前半部分の座学では、特定ラジオマイクに関する最新の情報や技術が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていた



WMAS を扱う両メーカーがそろっての実機試聴会は今回が初めて。セミナー終了まで WMAS を試聴する参加者の姿が絶えなかった



会場内にメーカーのブースを設置（写真左：シュア・ジャパン、写真右：ゼンハイザージャパン）。セミナー後半では、実験試験局の免許を取得している WMAS 送信機や受信機を実際に手に取り、その音を確認することができた



日本人の平均寿命

日本人の寿命が伸び続けています。女性 87.33 歳、男性が 81.35 歳だそうです。男と女の間に 6 年の差があるのは、何故なのでしょう？

私見ですが、まず第一に女性は打たれ強いということがあげられます。女性は今でこそ強くなりましたが、昔は男に虐げられてこそが女性の鏡と称されていた時代がありました。それも女性の血のにじむような努力と精進と発言力と腕力によって現在の地位が培われたのではないかと思います。

第二には女性が強くなったのと逆に、男が弱くなったことが上げられます。何か言われると

しょげ返るか、キレて他人の言うことが耳に入らない。それが高じて離婚となり、シングルマザーが増えてきた一因となっているのではないのでしょうか？シングルマザーのお母さんたちの生活は大変だと聞きます。いくつもの仕事を掛け持ちして、身も心も疲れきっていながら子供の面倒をみるのは並大抵のことではありません。そんな光景を察しながら離婚をするには余程の覚悟があったと思います。離婚された男性はこのことを知っているのでしょうか。「色男、金と力は無かりけり」は



お花畑

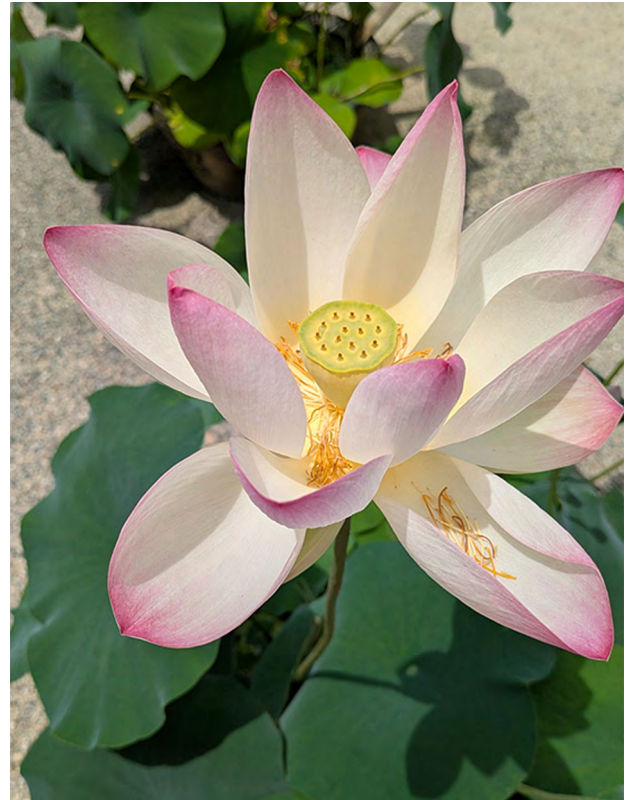
今の時代には通用しないのです。

そして三番目には胆力が根付いて、多少の逆境にはびくともしなくなったことです。自殺者の統計をみますと、10代こそは女性多いですが、20代以降は圧倒的に男がリードして、女の二倍以上の自殺者を出しています。男は諦めがいいとか、生に執着しないとか、江戸時代の武士道でもあるまいし、時代錯誤も甚だしいとしか言いようがありません。とにかく我慢して、ガマンして、がまんしてきたのが女性です。それが自己実現、つまり平和と幸福を手に入れることができたのではないのでしょうか？

この平均寿命ですが 1950 年（昭和 25 年）は男が 59.57 歳、女が 62.97 歳だそうです。もっとも戦時中、男の寿命は 25 歳という説がありました。ここでも戦争の暗い影が想起されます。それまでは人生 50 年と言われていました。2000 年（平成 12 年）は男が 77.72 歳、女が 84.60 歳でした。毎年、平均寿命が延びています。これも日本には戦争も無い、紛争も無く、命の危険にさらされることも無い、平和を維持できた国家だったからではないのでしょうか？

今、右を見ても左を見ても嫌な時代になった感じがします。政府が唱える法律は国民の生活を豊かにするのではなく、逆に縛りつけようとするばかりで、ギスギスした空気が蔓延しています。こんな世の中で人生 100 年と言われても“どうかなあ”と首をかしげてしまいます。

ある学者の話ですが、自分の人生は自分で決めるとして、60 歳になったら死ぬと決めたそうです。首つりとか、飛び込みとか、身体を痛めるのは嫌だと自然死を選んだそうです。三



蓮の花

食食べて、夜寝て朝起きて、規則正しい生活をしていて、命が縮む訳がありません。そこで考えたのが断食と夜寝ないことだそうです。睡眠はどんなにガマンしても放っておいたら寝てしまいます。死ぬまで起きているなんて出来ない相談です。それではと食を断ったそうです。これも栄養不足でフラフラになっているところを発見され、救急車で搬送されることを何度かくり返したとのこと。結局、生半可なことでは死ねないと悟ったので、自然に任せることにしたそうです。

長生きすればする程、他人に迷惑をかけるのは当然のことです。だから気にせず、焦らず、慌てず、自然に任せて生き続けることですね。

（神納 脩）

—モータースポーツ無線協会からのお願い—

令和 8 年 10 月 2 日(金)～ 4 日(日)の 3 日間、「モビリティリゾートもてぎ」(栃木県芳賀郡茂木町)において、『MotoGP』が開催されます。

このレースには毎年、TV ホワイトスペース帯を使用する無線設備が多数持ち込まれます。現在、総務省様と周波数調整をおこなっておりますが、今年も「TV ホワイトスペースチャンネルリスト」に登録されている TV チャンネルの大部分を使わせていただくことになります。この無線設備は、レースの興行に必要不可欠なものですので、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、同リストのすべての TV チャンネルを使用するわけではございませんので、サーキット内で特定ラジオマイクを使用される予定のある会員の方は、ぜひ早めに運用調整手続きをお願いいたします。

昨年は、モビリティリゾート内で開催されるイベントでの利用希望が多く、皆様にご迷惑をおかけしたことから、まだ確定ではありませんが、今年は 6 チャンネル分(28ch,30ch,31ch,32ch,33ch,46ch)を MotoGP 側で使用しないことで協議しております。関連企業様におかれましては、この中で調整をすすめていただくようお願いいたします。

MotoGP 側の運用期間は、試験電波発射を含め、令和 8 年 9 月 30 日(水)～ 10 月 4 日(日)の 5 日間となります。

〈本件に関するお問い合わせ〉

モータースポーツ無線協会 田中

E メール：t-tanaka@mosra.jp 電話：03-6402-2744